

令和3年度 決算報告

令和3年度の一般会計と特別会計の決算が、令和4年12月13日から開かれた第4回定例議会にて認定されました。

ここでは、まちの家計簿である令和3年度決算状況についてお知らせします。

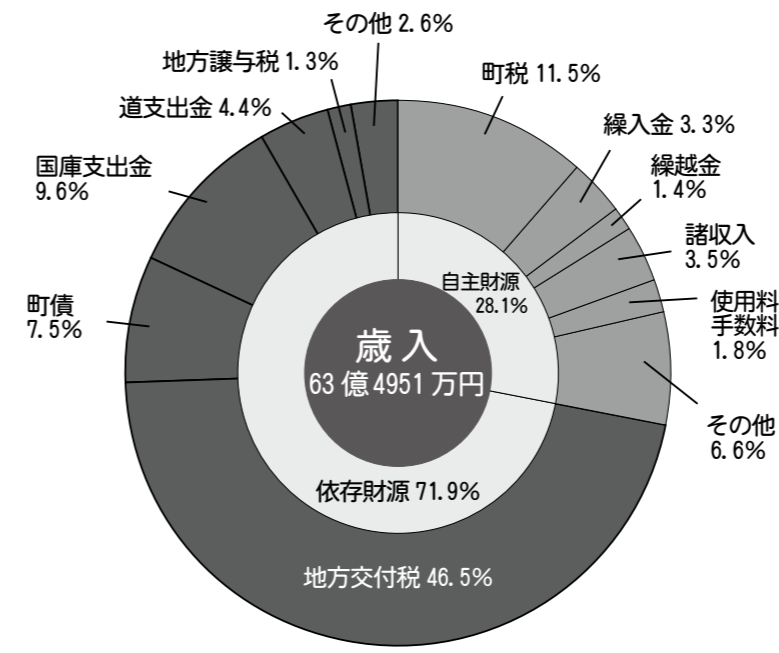
財政の健全化を判断する各財政指標においては、地方交付税などの依存財源の増減により左右される状況にありますが、継続して効率的な財政運営を執り進めて

きた結果、いずれの財政指標も健全化を示しています。

令和3年度は、災害時に安否確認や情報収集を行うことを目的に、避難所

となる集会所施設に無線LANの開工事を実施し、防災対策に取り組んでいるほか、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた事業を行いました。

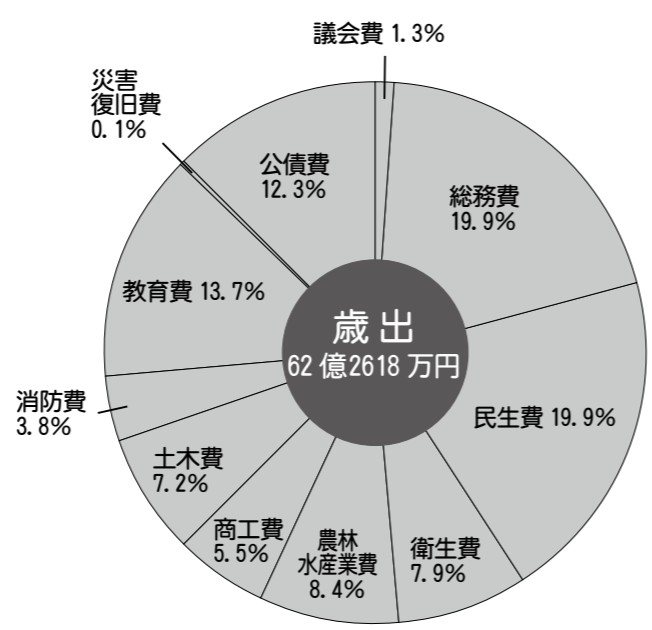
項目別内訳 (各項目の%は構成比)



区分	決算額	前年比増減率
町税	7億2846万円	1.4
繰入金	2億1181万円	3.8
繰越金	8863万円	△30.7
諸収入	2億2395万円	△43.9
使用料手数料	1億1266万円	△1.4
その他	4億2102万円	99.2
小計	17億8653万円	0.6
地方交付税	29億5503万円	10.7
町債	4億7334万円	△49.6
国庫支出金	6億862万円	△56.8
道支出金	2億7722万円	18.3
地方譲与税	8221万円	0.8
その他	1億6656万円	13.4
小計	45億6298万円	△16.8
合計	63億4951万円	△12.5

税目	決算額	前年比増減率
個人町民税	2億9932万円	9.0
法人町民税	5502万円	△0.6
固定資産税	3億1500万円	△4.8
軽自動車税	1753万円	2.7
町たばこ税	3227万円	10.5
入湯税	932万円	△18.9
合計	7億2846万円	1.4

一般会計



区分	決算額	前年比増減率
議会費	7803万円	0.9
総務費	12億3946万円	△17.0
民生費	12億3790万円	△22.4
衛生費	4億9217万円	10.6
農林水産業費	5億2065万円	12.6
商工費	3億4531万円	△33.5
土木費	4億4785万円	4.0
消防費	2億3687万円	△49.3
教育費	8億5321万円	△6.6
災害復旧費	624万円	28.3
公債費	7億6849万円	1.1
合計	62億2618万円	△13.2

区分	決算額
簡易水道事業特別会計	歳入 2億5572万円
	歳出 2億4362万円
下水道事業特別会計	歳入 2億2187万円
	歳出 2億2068万円
国民健康保険特別会計	歳入 8億4189万円
	歳出 8億3563万円
後期高齢者医療特別会計	歳入 8413万円
	歳出 8401万円
介護サービス特別会計	歳入 3億5388万円
	歳出 3億4782万円
国民健康保険診療所事業特別会計	歳入 5億2813万円
	歳出 4億8278万円
合計	歳入 22億8562万円
	歳出 22億1454万円
	差引繰越額 7108万円

基金残高と地方債残高

○基金残高 (貯金)
令和3年度決算における一般会計の基金残高は20億8876万円。
令和2年度の決算残高と比べて2億9168万円増加となりました。令和3年度については、交付税の増額などにより、昨年度と比べ財政調整基金の取り崩しが減少しています。
町民1人当たりの貯金額 40万3千円
(令和4年3月末の人口で算出)

○地方債残高 (借金)
令和3年度決算における一般会計地方債(元金)残高は57億808万円。令和2年度の決算残高と比べて2億7368万円減少しました。(内実質負担額14億9576万円)
町民1人当たりの借金額 28万9千円
(令和4年3月末の人口で算出)

区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	3年度管内平均	3年度全道町村平均
経常収支比率	86.6	92.7	89.3	89.8	84.3	84.3	88.4
実質公債費比率	8.5	7.3	7.1	7.5	7.7	9.3	6.9
将来負担比率	2.8	7.9	6.0	6.9	—	24.8	26.7

経常収支比率について、令和3年度決算では、町税や普通交付税などの経常一般財源収入は38億1202万円、経常一般財源支出は32億1280万円となり、経常収支比率は84.3% (収入から臨時財政対策債を除いた収支比率は87.1%) となります。経常収支比率を前年と比較すると5.5ポ

イントの減となりました。
この状況を家計に置き換えると、給料や事業収入で得た家計収入のうち、住宅ローン、教育費、光熱水費など、既に決まっている支出が約8割あり、残りの約2割が手元に残り自由に使えるお金ということになります。

歳入について

歳入の決算額は、63億2618万円で、前年度決算額と比較して、9億4350万円、13.2%の減となりました。

執行率では、予算現額に対し77.9% (前年度98.6%) で、17億7038万円の執行残が生じていますが、この額には、翌年度への繰越明許費とした事業の繰越額16億9880万円を含んでおり、これを除いた執行残は、7158万円となります。

歳出について

歳入の決算額は、63億4951万円で前年度決算額と比較して9億879万円、12.5%の減となりました。

町税の収納率は、調定額に対して99.4% (前年度99.2%) で、前年度と比較し、0.2%の増となりました。

また、町税の収入未済額は4068万円、不能欠損処分として整理したものは125万円、これら収入未済額の合計額は4193万円の決算となり、前年度と比較して617万円、12.8%減少しました。